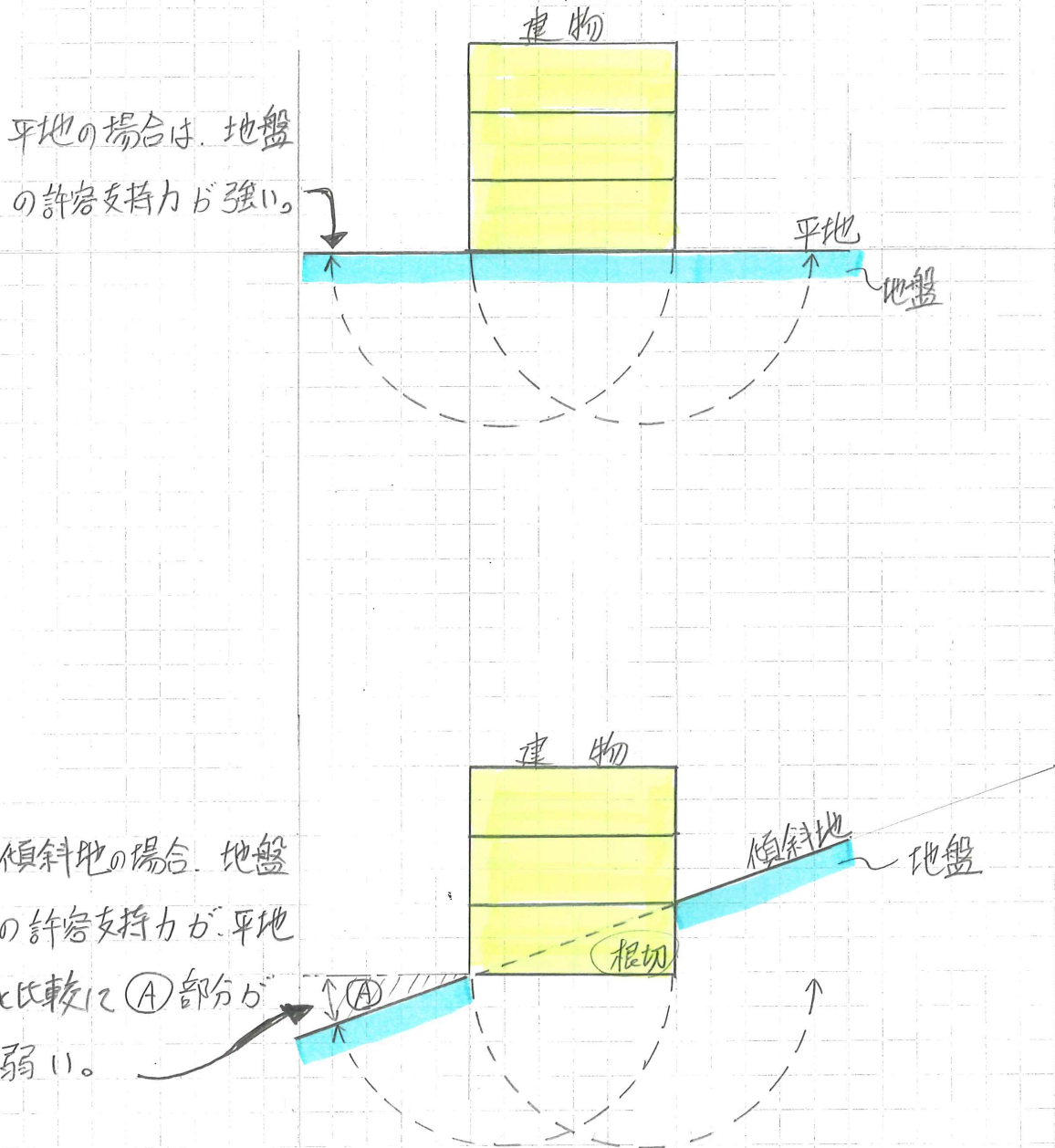


表2 構造計画の予測問題と解答例(6問)

予測問題	解答例
② 傾斜地を考慮した構造計画について工夫したこと。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎は、支持層が傾斜している可能性と、偏土圧に対する水平抵抗力を高めるため、べた基礎を採用した。 べた基礎は、地下1階の湧水処理と設備ピットとしての利用をするため、2重スラブ(ピット)構造とした。 地下1階は、土被りのない場所もあることから、地震力の算出では、地上3階建てとして計算した。 地盤の許容支持力の算定では、傾斜に沿って計画しているため、鉛直支持力を低減した。

この文がわかりにくいという質問が来したので補足説明します。
(H29.9.12)



従って、傾斜地に沿って計画する場合、通常根切に平地に建物を建築することとなるが、この①の部分(弱くなる)を考慮して、安全側の計算とするため、鉛直支持力を低減して算定する。